

不安軽減する治療受けて

お口の



【問い】 歯医者が恐くて、いつも治療の途中で行くのをやめてしまいます。むし歯がありそうなのですが、どうしたらいいのでしょうか？
(長崎市、34歳男性)

【答え】 歯科治療が苦手な人は少なくありません。その中でも、人より不安が強すぎて▽口をじゅうぶん開けていられない▽顔や体が動いてしまふ▽診療室に入れないなどの行動がみられる「歯科治療恐怖症」と診断される方がいます。

ただし、問題は歯の治療が終わった後です。ここからが歯科治療恐怖症の治療の本番です。せっかく歯科治療への不安が減ってきているのに、歯の治療が終わったからと受診をやめてしまえば、不安感

このような方には、歯科治療に適応するための行動調整法と呼ばれる方法が必要です。行動調整法には①行動療法(行動変容法) ②精神鎮静法 ③全身麻酔法 ④全身麻酔法 ⑤全身麻酔法 ⑥全身麻酔法 ⑦全身麻酔法 ⑧全身麻酔法 ⑨全身麻酔法 ⑩全身麻酔法

また、痛くなってからの受診では治療も複雑になり、何回も通院しなければいけません。これを繰り返しているという状態は悪くなっています。②や③は薬物による方法ですから、体への負担も伴います。

①行動療法(行動変容法)で代表的な方法は、恐怖感の弱いものから強いものへ段階を踏んで体験し、不安を軽減する方法です。②精神鎮静法は、前もって薬を飲む、笑気ガスを吸入する、鎮静薬を点滴するといった方法があります。

定期的を受診し、歯科衛生士に歯のクリーニングをしてもらいながら慣れていきましよう。かかりつけの歯科医院を持つことが一番の治療です。

歯医者が怖い

回答者

鮎瀬 てるみ

長崎市坂本1丁目
長崎大学病院特設
歯科総合治療部



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。